

○議長（茅沼隆文）

続いて議案第25号 平成31年度開成町下水道事業会計予算の細部説明を担当課長に求めます。

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

では予算書の247ページをお開きください。

議案第25号 平成31年度開成町水道事業会計予算。

総則、第1条、平成31年度開成町の下水道事業会計予算は、次に定めるところによる。

業務の予定量、第2条、業務の予定量は、次のとおりとする。

第1号 配水個数、5千717個、第2号、年間有取水量、194万9千880立方メートル、第3号、1日平均有取水量、5千342立方メートル。第4号、主な建設改良事業、ア、管路建設、1億2千216万4千円、イ、流域下水道費、241万4千円。

収益的収入及び支出、第3条、収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。収入、第1款下水道事業収益4億9千169万円、第1項営業収益2億4千347万5千円、第2項営業外収益2億4千821万5千円。

支出、第11款下水道事業費用4億9千169万円、第1項営業費用4億2千986万1千円、第2項営業外費用5千568万6千円、第3項特別損失314万3千円、第9項予備費300万円。

資本的収入及び支出、第4条、資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。（資本的収入額が、資本的支出額に対し、不足する額1億4千115万6千円は、は引継金2千227万9千円、当年度損益勘定留保資金1億996万3千円、当年度資本的収支調整額891万4千円で補填するものとする。

収入、第2款資本的収入2億407万9千円、第1項負担金238万5千円、第2項補助金3千万円、第3項出資金7千929万3千円、第4項企業債9千240万円、第8項その他資本的収入1千円。

支出、第12款資本的支出3億4千523万5千円、第1項建設改良費1億2千457万8千円、第3項企業債償還金2億1千965万7千円、第9項予備費100万円。

特例的収入及び支出、第4条の2、地方公営企業法施行令第4条第4項の規定により、当該事業年度に属する債権及び債務として整理する未収金及び未払金の金額は、それぞれ3千148万5千および1千700万円である

次のページをお開きください。企業債、第5条、起債の目的、限度額、起債の方法、利率および償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的および限度額を順番に御説明します。公共下水道事業5千500万円、流域下水道事業240万円、特別措置3千500万円、計9千240万円、起債の方法、利率、償還の方法は記載のとおりです。

一時借入金、第6条、一時借入金の限度額は、1億円と定める。議会の議決を経なければ、流用することができない経費、第7条、次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、またはそれ以外の経費を、その経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

第1号、職員の給与費、3千197万5千円、他会計からの補助金、第8条、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、1億3千570万7千円である。

平成31年3月5日提出、開成町長、府川裕一。

それでは、別冊の開成町歳入歳出の説明書110ページ、111ページをお開きください。歳入です。収益的収入、下水道事業収益、営業収益、下水道使用料は、下水道使用料として5千717件を見込んでおります。その他の営業収益の手数料は、宅内排水設備工事指定工事店及び宅内排水工事責任技術者の更新、新規登録の手数料と各種証明の手数料を見込んでおります。

営業外収益、他会計補助金は、一般会計からの補助金で、特別会計時の一般会計からの繰入金のうち、営業に関わる繰入分になります。

2段飛ばしまして、資本的収入です。負担金、受益者負担金は、平成28年、平成29年、30年度の工事で、下水道に接続可能な土地に対して、平成29年、30年、31年度に付加する受益者負担金です。

1段飛ばしまして、補助金、国庫補助金は、社会資本整備総合交付金でございます。3千万円を見込んでおります。

出資金、一般会計出資金は、一般会計出資金で、特別会計の一般会計からの繰入金のうち建設改良に関わる繰入分になります。

企業債、公共下水道事業債は5千500万円、流域下水道事業債は240万円、特別措置分は3千500万円でございます。

次の112ページ、113ページをお開きください。歳出になります。収益的支出です。下水道事業費用、営業費用の管渠費は、特定事業所5カ所の水質検査、流量計の保守点検、管路調査委託、宮台のマンホールポンプ1基の更新工事、水道施設の維持管理費用になります。

流域下水道費は、酒匂川流域下水道事業における汚水処理等に関わる維持管理費の負担金です。

総係費は、職員給与、下水道運営審議会の開催、下水道台帳の補正や、水道会計で徴収しています下水道使用料の委託料等になります。

1段飛ばしまして、営業外費用、支払利息が下水道事業債139件の利子償還と一時借入金の利息になります。

2段飛ばしまして、特別損失、その他特別損失です。公営企業会計移行に伴い、初年度だけ職員の共済費、期末勤勉手当等の引当金及び不納欠損の貸倒れの費用を見込むものでございます。

1段飛ばしまして、資本的支出です。建設改良費、管路建設費は、建設事業に伴う職員の給与や管路実施設計委託、下水道管布設工事です。平成31年度は牛島地区2

カ所の下水道管敷設のための管渠実施設計委託と町内5カ所の下水道管敷設工事を予定しております。場所につきましては、説明書の後ろに、資料2として、下水道工事箇所図を添付してありますので、後ほど御覧ください。

流域下水道費は、酒匂川流域下水道事業における処理場の建設工事費等に係る建設費の負担金です。企業債償還金は、下水道事業債、121件の元利償還金です。予備費は100万円を計上しました。

予算書の253ページをお願いいたします。平成31年度開成町下水道事業予定キャッシュフロー計算書です。平成31年4月1日から平成32年3月31日まで、1の営業活動によるキャッシュフローです。(1)当年度純利益83万9千500円を見込んでおります。

(2)の営業活動から得た現金預金への当年度純利益の調整、イからホまでを加えた小計1億7千855万2千400円、受取利息及び配当金受入額、支払利息及び企業債取扱諸費の支払額を加えた営業活動から得た現金預金純額は1億3千392万5千400円となります。

次に2の投資活動によるキャッシュフローです。(1)の固定資産の取得による地質建設改良から(6)の投資活動に伴う現金預金の調整まで、投資活動から得た現金預金純額はマイナス8千400万200円となります。

次に、3の財務活動によるキャッシュフローです。(1)の企業債の発行と(2)の企業債の償還の合計が、財務活動から得た現金預金純額となり、マイナス1億2千725万7千円となります。

4の現金及び現金等価物増加減少額が、マイナス173万1千800円となり、特別会計から引き継ぐ予定の5の現金預金及び現金等価物期首残高1千万を加えた6の現金預金及び現金等価物期末残高は826万8千200円となります。

次に258ページをお開きください。平成31年度開成町下水道事業予定開始貸借対照表(税抜き)です。

平成31年4月1日時点の特別会計から引き継いだ資産、負債及び資本状況になります。

資産の部です。(1)固定資産の(1)有形固定資産は、イの土地、ロの建物、への車両及び運搬具は資産がございません。ハの構築物は今まで敷設しました下水道管渠やマンホール公共ます等がございます。

2の機械および装置は、有料系と宮台に設置してありますマンホールポンプ施設となります。トの平成30年度工事執行に伴う建設仮勘定を加えた有形固定資産合計は64億3千393万6千969円となります。

(2)無形固定資産のイの施設利用券は、酒屋川流域下水道の処理場の施設利用券でございます。ロのソフトウェアは、購入しました企業会計ソフト等の・になります。

(3)その他の投資、その他の資産、イの出資金は、昭和55年に神奈川県下水道公社に出資した出資金でございます。

固定資産合計は70億3千851万8千477円となります。

(2)の流動資産は、(1)現金預金と(2)の未収金貸倒引当金で流動資産合計は4千148万5千となり、固定資産として合計としましては70億8千万3千477円となります。

次のページを御覧ください。負債の部です。3の固定負債は、(1)企業債だけで(2)の引当金、イの修繕引当金等はありません。固定負債合計は21億2千53万903円です。

4の流動負債は、(2)企業債と(3)未払金で、流動負債合計は2億3千665万6千977円です。

5の繰延収益は、(1)長期前受金、イの国県補助金からホの他長期前受金まで繰延収益合計は34億7千624万5千589円で負債合計が58億3千343万2千589円となります。

次のページを御覧ください。資本の部です。6の資本金は、(1)自己資本金として資産合計から負債合計を引いたイの固有資本金だけで、7の剰余金はありません。資本合計は12億4千657万888円となります。負債合計と資産合計を足しました負債資本合計70億8千万3千477円となります。

次の262ページをお願いします。平成30年度開成町下水道事業予定貸借対照表(税抜き)です。

平成31年度下水道事業実施した平成32年3月31日時点の資産負債資本等の予定でございます。

資本の部です。(1)有形固定資産の合計は63億4千961万3千716円となります。

(2)無形固定資産の合計は5億7千139万6千508円となります。

(3)投資、その他の資産は74万円となり、固定資産合計は69億2千175万224円となります。

2の流動資産の合計は、3千502万4千円となり、資産合計は69億5千677万4千224円となります。

次のページを御覧ください。負債の部です。3の固定負債の合計は19億8千922万4千124円となります。

4の流動負債の合計では、2億4千477万3千576円となります。

5の繰延収益の合計は、33億9千607万3千136円となり、負債合計が56億3千7万836円となります。

次のページを御覧ください。資本の部です。6の資本金の合計はハの出資金が増えたことにより13億2千586万3千888円となります。

7の剰余金の合計は、ハの当年度未処分利益剰余金83万9千500円、資本合計は13億2千670万3千388円となり、最終本合計は69億5千677万4千224円となります。

次の265ページをお願いいたします。開成町下水道事業会計予算書作成における注記です。1の重要な会計方針(1)有形固定資産と(2)無形固定資産の減価償却

の方法と主な耐用年数は記載のとおりです。

(3) 引当金の計上方法と(4) 消費税及び消費税地方消費税の計算処理方法は浄水場の公営企業会計の注記と同様でございます。

2、予定キャッシュフロー計算書の関連の該当はありません。

以上で説明を終わりにいたします。よろしく申し上げます。